

試験科目名
都市・建築デザイン

(3 枚中 1 枚目)

第 1 問 以下に挙げる環境設計に関するキーワード 20 個全てについて説明しなさい。(5 点×20 問)

- (1) 短期荷重
- (2) 禅宗様
- (3) 田園都市
- (4) 交差リブ・ヴォールト
- (5) テリトリー
- (6) 石綿 (アスベスト)
- (7) 景観法
- (8) 鮑 (かんな)
- (9) 日本の文化財保護法
- (10) 海洋汚染物質
- (11) 都市公園
- (12) 群集
- (13) 里山の保全
- (14) ブルータリズム
- (15) アビタ 67
- (16) 輝く都市
- (17) アール・ヌーヴォー
- (18) Other effective area-based conservation measures (OECM)
- (19) ヒートポンプ
- (20) カーボンネガティブ

令和 8 (2026) 年度 大学院 修士課程 (一般入試) 学力検査問題

試験科目名
都市・建築デザイン

(3 枚中 2 枚目)

- * 第 2 問～第 5 問のうち、2 問を選択して解答しなさい。3 問以上解答した場合は採点しません。
- * 解答に際して、問題毎に解答紙を分け、それぞれ 1 枚に収めること。選択した問題の 1 問目を解答紙 3 枚目、2 問目を解答紙 4 枚目に解答すること。

第 2 問 建築計画に関する問題 (配点 50 点)

1. 集合住宅の「個別性と共有性」について、説明しなさい。(10 点)
2. 「学校と地域施設との連携」についてその意義と課題を、説明しなさい。(10 点)
3. ナイチンゲールが目指した「病院建築」について、説明しなさい。(10 点)
4. 空間の「更新性」について、具体的な事例を挙げながら建築計画学の視点から論考しなさい。(20 点)

第 3 問 都市デザイン・建築意匠に関する問題 (配点 50 点)

1. 都市デザインに関する以下の(1)、(2)の問いに答えなさい。(解答紙 1/2 程度)
 - (1) 右写真の都市的プロジェクトについて、作者およびその解説について述べなさい。(10 点)
 - (2) 戦災や被災した都市の復興の在り方についてあなたの考え方を述べなさい (15 点)

著作権上の理由により、非公開としています。

2. 建築意匠に関する以下の(1)、(2)の問いに答えなさい。(解答紙 1/2 程度)

- (1) 下図の建築ドローイングについて、作者およびその内容について解説しなさい。(10 点)

著作権上の理由により、非公開としています。

- (2) 熱帯気候における建築のあり方について、平面計画および断面計画の 2 つの観点から論じなさい。また、あなたの論考に関連したスケッチを 1 点描き、文章と合わせて説明に用いてください。(15 点)

試験科目名
都市・建築デザイン

(3 枚中 3 枚目)

第 4 問 建築環境計画に関する問題 (配点 50 点)

1. 人間が眼から得られる情報をもとに色彩を感じるメカニズムとその特性について知るところを説明しなさい。(10 点)
2. 音環境に関する下記の項目それぞれについて、建築設計においてどのように検討するか図も用いて述べなさい。(20 点)
 - ・遮音性の向上と壁
 - ・音の響きの量と質
3. 寒暑涼暖と言われる温熱感覚について、身体と環境両面の熱的状态から説明しなさい。(10 点)
4. 人間同士の距離の取り方やその距離分類およびこれらに影響する要因について知られていることについて説明し、環境設計の中でどのように応用されているか、例を示して説明しなさい。(10 点)

第 5 問 建築構法に関する問題 (配点 50 点)

1. 1851 年にロンドンで開催された第 1 回の万国博覧会の水晶宮の設計者は誰か述べよ。また、水晶宮はどのような技術を応用して建設されたのかを解説せよ。続いて、水晶宮が後世の建築に与えた影響を建築構法および建築生産的特徴から説明しなさい。(10 点)
2. これまでの国際博覧会 (現在開催されている EXPO2025 大阪・関西万博より前の万博) もしくは地方で開催された博覧会で建設されたパビリオンまたは工作物の中から、レガシーとして現存しているものを一つ選び、そのパビリオンもしくは工作物を建築構法および建築生産的特徴から説明しなさい。(10 点)
3. 現在開催されている EXPO2025 大阪・関西万博のパビリオンもしくは工作物から三つを選び、それらのパビリオンもしくは工作物を建築構法および建築生産的特徴から説明しなさい。(30 点)

試験科目名
都市・建築デザイン

解 答 紙

受験番号

(4 枚中 1 枚目)

第 1 問

以下の罫線は目安であり、必ずしも罫線の通りに記述する必要はありません。

- (1) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (2) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (3) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (4) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (5) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (6) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (7) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (8) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (9) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (10) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120



試験科目名
都市・建築デザイン

解答紙

受験番号

(4枚中2枚目)

第1問(続き)

以下の罫線は目安であり、必ずしも罫線の通りに記述する必要はありません。

- (11) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (12) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (13) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (14) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (15) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (16) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (17) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (18) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (19) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120
- (20) _____ 30
_____ 60
_____ 90
_____ 120

試験科目名
都市・建築デザイン

解 答 紙

受験番号

(4枚中3枚目)

第__問 (選択問題、選択した問題番号を左の下線部に記入すること)

試験科目名
都市・建築デザイン

解 答 紙

受験番号

(4枚中4枚目)

第__問 (選択問題、選択した問題番号を左の下線部に記入すること)